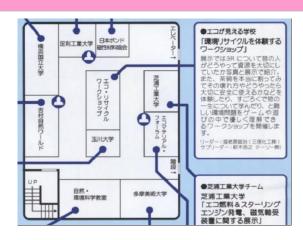
[エコ学] 東京タワーイベント (2015年10月) 実施メモ







宛先:メンバー各位

件名; [エコ学] 東京タワーイベント(2015年10月) 実施メモ

・東京タワーイベントに「エコが見える学校」として 「お茶碗(もの)の一生すごろく」「われたらぱずる」 「環境脱出ゲーム」を出展しましたので、ご報告いたします

【開催概要】

・イベント名: 東京タワー・キッズ環境科学博士2015

・日 時; 2015年10月10日(土)~12日(祝・月)10:00-17:30

※ 9日はプレスデー

・主 催; 「東京タワー・キッズ環境科学博士2015」実行委員会

・協 カ: 未踏科学、エコマテリアル・フォーラム、エコが見える学校

・場 所; 東京タワー 地下一階のホール 東京都港区芝公園4丁目

・テ ー マ: 未来のものづくり・サービス

・進 行 役; 海老原様(三信化工)・高岡様(GPN)・伊藤様(JEMAI)・進 行 役; 望月様(個人・キャノン)・沖田様(個人・江戸川区)

・進 行 役: 松本先生(横浜国立大学)・新木(トーソー)

・松本先生は「子供向け自然&環境科学教室」でご講演され そのあとで、エコ学ブースに参加して下さいました。

9日のプレスデーでは海老原様、新木が発表。

[趣旨·経緯]

- このイベントは今年から始めた催し
 - → 楽しく学べ、遊べる体験コンテンツをエコ学他が提供
- 子供たちが水素エネルギーや環境問題を学べる入場無料のイベント
 - → 「エコ文化ステーション」を目指す東京タワーが後押し

[参加からの主な反応や感想]

1 ▼ お茶碗(もの)の一生すごろく

- エコ学といえば「すごろく」。
- ・沖田様は一回練習して、次はいきなり実戦・本番の進行役。
 - → それでも上手にやってしまうのはすばらしいですね。
- ・松本先生、望月様はやりながらイメージして、「楽しい・わかりや すい・面白く」やり方を開発して、変えていく。
 - → どんどん進化中、まだ発展途上ゲーム
- ・子供はゲームに夢中。

でもお母さんは、毎日の生活と環境問題の結びつきについて学ぶ。

- → ポイントいっぱいだと負け!ゴールが早くても負け!
- → 変なすごろくに なるほどとうなづいていました。(高岡様)

2 ▼ われたらぱずる

- 必要性をアビール。
 - → ゲームを楽しめて、危険をさけることを学べる
- がちゃん、がちゃんと会場内に音が響いている。
 - → 「なんだろう」と来場者が惹きつけられ、エコ学ブースへ寄られる。
- やってみようか、どうしようかなと考えている親御さんに
 - → 「危険があっても事故にならない」ことを体験して覚えますよ!。
- 「お茶わんを本当に割ってみます」どこが危ないの?どれだけ危ないの?
 - → 一生、お子さんの耳に残ります
 - → これで、迷っていた方も、ほとんど参加希望。
 - → お子さんがお茶わんを割る姿をカメラを構えて待ち構え。
- 先生、教えていただきありがとうございました。と言って帰えられました。

3▼ 環境脱出ゲーム

- ・シヤチハタ様の油性マーカー「乾きまペン」 どうしてCO2排出が、167グラムと153グラムの2種類あるの?
 - → 数値表記すると、いろんなきっかけができるようです。 (国内/海外生産)
- 「つくる」「つかう」「すてる」の円グラフ表記
 - → 割合が分かりやすくて、いいですね
- ・小学生低学年が対象だと 二酸化炭素ってなんだろう、そこから説明するのは辛い 「妖怪エコ庵」のアンケートにあるうちわで仰ぐとか
 - → 参加者を動かす工夫が必要ですね

来年も、このイベントが定例開催していただけるとうれしいなと 思っています。